

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.51
2011.12

くしろ丹頂



根釧牛乳の消費拡大活動（青年部、女性部合同・イオン釧路昭和店にて）

CONTENTS

- 学校給食で食農教育（鶴居・白糖・音別）————— 1
- 根釧牛乳の消費拡大活動 ————— 2
- 全道JA青年部大会 / 管内JAフレッシュミズ研修会 ——— 3
- 女性部交流会 / 鶴居村交通安全村民大会
JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール————— 4
- 普及センターだより ————— 5
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報 ——— 6
- 年末年始休業予定表 ————— 7



食農教育を実施（音別小学校）

学校給食で食農教育!! (鶴居・白糠・音別)



酪農について学ぶ (鶴居小学校)

鶴居村、白糠町、音別町各地区の小学校で、「根釰牛乳」の消費拡大と地産地消の意識を根付かせることを目的とした食農教育が行なわれました。

十一月八日、鶴居小学校では四年生を対象に、よつ葉乳業(株)根釰工場 木村武靖 酪農担当課長 (以下、よつ葉 木村課長) J A 女性部鶴居支部 斉藤弘子支部長、同女性部幌呂支部 吉田鈴子支部長が、「牛の体のしくみ、牧場の一日の仕事、牛乳の出来るまで、牛乳の知識」など「酪農」について説明を行いました。

同日、村内全小中学校の給食では、よ



授業の様子 (庶路小学校)

つ葉乳業(株)根釰工場運営協力会から提供された牛乳とバターを使い、釰路管内産のじゃがいもなどが入ったシチューが出され、大変おいしいと好評でした。

十月二十四日、庶路小学校の四年生を対象に、よつ葉 木村課長、同女性部白糠支部 峯田弘子支部長、渋谷幸子副支部長、對木美由紀副支部長による、「酪農及び根釰牛乳」の食農教育が行なわれました。

同日、町内六小中学校の給食には、根釰牛乳が提供され、美味しそうに飲



「上手に出来たかな？」手作りバター教室 (音別小学校)

む姿がうかがえました。

十一月二十二日、音別小学校では三年生を対象に、よつ葉 木村課長及び同女性部音別支部 成田洋子支部長が先生役となり、「酪農」について学びました。

つづいて、「根釰牛乳」を使った手作りバター教室が行なわれ、生徒達は牛乳の入ったペットボトル容器を懸命に振り、出来上がったバターをパンに塗り、根釰牛乳を飲みながら試食し、自分で作ったバターの味に満足した様子でした。

「根釧牛乳」の消費拡大活動を実施!!

(JA青年部・JA女性部合同)



おいしさ！ 飲みやすさ！ 健康!もアピール!!

十一月二十日、イオン釧路昭和ショッピングセンター（ジャスコ）において、JA青年部及び女性部合同による「よつ葉 根釧牛乳」の消費拡大活動を実施しました。

青年部員及び女性部員十七名により、店内に設けられた特設売り場二ヶ所で根釧牛乳と、根釧牛乳に混ぜ合わせたブルーベリー黒酢、ゆずはちみつ黒酢牛乳約千杯分を無料試飲してもらいました。

年齢を問わず関心を持ってくれたお客さんに、私達が日々生産している、根釧地区限定の牛乳であること、また牛乳の特徴などを丁寧に説明しました。家族連れで立ち寄るお客さんも多く、「いつもおいしく飲んでます。」という声も聞かれ、子供達の反応も上々でした。菱沼和也青年部長は、「ジャスコでこの活動は三年目となりますが、より多くの消費者に根釧牛乳を知ってもらいたい。こういった活動を通じ、消費者とのふれあ



いを大切にし、良質乳生産につながっていきたい。」また、峯田弘子女性部長は、「牛乳が飲める人、飲めない人など様々ですが、牛乳に酢を混ぜて飲むことで、骨粗しょう症の予防に効果があるという説明で、健康志向のお客さんの反応は大きく、今後も消費拡大活動を継続したい。」と手応えをつかんでおりました。

この日「根釧牛乳」の売上は、通常の日曜日に対し約二倍となり、PRした成果が大いに表れました。

第60回 全道JA青年部大会 開催

「JA青年の主張」鶴居支部 増田 ^{かずまさ}一真さん 優秀賞を受賞!!



酪農への思いを熱弁・増田 一真さん

十二月七・八日の両日、札幌パークホテルで第60回全道JA青年部大会が開催されました。

今年で60回目となる記念大会には、全道各地区からJA青年部盟友及び関係者約750名が参集し、青年の主張、青年部活動実績発表などが行なわれました。

当JA青年部からは部員六名が参加し、鶴居支部の増田一真さんが、青年の主張発表大会に釧路管内代表として出場し、「7M56cm跳ぶ牛屋さん」と題し、酪農を志す迄の幼少期からの経緯などに

ついて発表しました。内容は『小学生時に出会った陸上競技「走り幅跳び」は中学、高校、大学まで継続し、高校の恩師の言葉「いい加減にやっている者に感動はない。継続は力だ。」という教えを胸に努力を重ね、大学時代「7M56cm」の釧路・根室地区の新記録を作った事、教員の道を真剣に考えた時期、そして決意した「酪農」への道、青年部活動を通じた仲間との出会い、経営に携わり学ぶ日々、最後に青年部活動を通じ、子供たちに牛乳・乳製品のすばらしさを伝え、自分と同じ「牛屋さん」が夢になつてくれることを願っている。』と締めくくりました。

審査の結果は、みごと優秀賞を受賞し、堂々と立派な発表に審査員からも高い評価を受けました。

管内フレッシュミズ研修会 開催!!



室内パークゴルフで交流 (子供達も一緒に)

十一月十五日、JA釧路地区女性協議会クロウバーの会(フレッシュミズ部会)は、釧路で管内フレッシュミズ研修会を開催しました。管内六JAから二十七名(うち当JAから十一名)が参加し、釧路の室内パークゴルフ場(アベニュー・クシロ)において、パークゴルフを通じて交流を深めました。

坂上由紀子会長(JA摩

周湖)は、「楽しく、仲良く、今日一日を過ごしましよ。う。」と挨拶し、三、四名のグループに分かれ、グループごとの打数を競いました。結果、菱沼亜美さん(丹頂)、橋本いずみさん(太田)、佐藤亜湖さん(標茶)、菊地まゆみさん(阿寒)のFチームが優勝しました。

終了後は、全員で昼食をとりながら、部員同士の親睦を図りました。

女性部交流会 開催!! (女性部鶴居・幌呂支部、昆布森漁協女性部と交流)

南瓜とチーズ・ゆで卵のサラダ (齊藤弘子支部長提供)

材料 (4人分)

南瓜 …………… 400g
 ゆで卵…………… 2個
 プロセスチーズ… 70g
 玉ねぎ…………… 1/4個
 塩…………… 小さじ1/2

※A

マヨネーズ… 大さじ5
 ヨーグルト… 大さじ4
 しょうゆ… 大さじ2
 コショウ…………… 少々

作り方

※事前にゆで卵をつかっておく。

- ①南瓜は種とわたを取り蒸す。その後フォークなどでザクザクと小さく崩し冷ます。
- ②ゆで卵は1個はフォークでつぶす。(中身用) もう1個は白身と黄身に分け、別々に細かくつぶす。(飾り用)
- ③プロセスチーズは1cm角に切る。
- ④玉ねぎは薄切にし、塩をまぶし10~15分おいた後、水気をしぼる。
- ⑤Aを混ぜ、④を加えたら①、②の中身用のゆで卵③をあえる。
- ⑥最後に飾り用のゆで卵をふりかける。



十一月十九日、鶴居村総合センターで、JA女性部鶴居・幌呂両支部と昆布森漁業協同組合女性部による交流会が開催されました。

この交流会は、今年で三回目となる異業種間交流で、当JA鶴居・幌呂支部の部員二十名と昆布森漁協女性部員十三名の計三十三名が参加しました。調理実習室の各テーブルに分かれた部員達は、今回鶴居支部が準備した料理レシピをもとに、牛乳、チーズ、バター、ヨーグルトなどを使った料理を作りました。「とり肉やごぼうの入った混ぜご飯」・「南瓜とチーズ・ゆで卵のサラダ」・「南瓜の和風チヤウダー」・「ミルクゼリー」・「シフォンケーキ」の五品を作り、全員で試食しながら交流を深めました。

昆布森漁協 能登環部長からは「今年三月の津波による漁業被害はありましたが、今後も前向きに漁業に取り組んでいきたい。」という力強い挨拶がありました。

そして、今回試作した料理は大変おいしく出来たので、自宅でもまた作りたいという声も多く聞かれ、交流会は和やかなうちに終了しました。

JA共済 全道小・中学生 交通安全ポスターコンクール

十月二十九日、札幌全日空ホテルにおいて、「JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式が開催されました。

今年で38回目を迎えた当コンクールは、交通安全を広く社会に訴えるとともに、小・中学生の美術力向上を目的に実施しているもので、今回は全道より4257

点の応募作品から、金賞9点、銀賞9点、銅賞9点、佳作36点選ばれ、表彰式では、金賞9名の生徒及び学校が表彰されました。

今年で38回目を迎えた当コンクールは、交通安全を広く社会に訴えるとともに、小・中学生の美術力向上を目的に実施しているもので、今回は全道より4257

その中で、一年生・金賞に高橋鈴駕くん、三年生・佳作に大谷結衣菜さん、五年生・銅賞に高田リカさん(3名とも鶴居小学校)が受賞しました。



鶴居小学校 1年 高橋鈴駕くん



鶴居小学校 5年 高田リカさん



写真1 体についたコブ

エサが届かない場所にあると、牛は遠くのエサを食べようと、まさに棒などに全体重を押しつけエサを食べようとします。このような状態が長く続くと体に傷やコブが出来ます(写真1)。そして終には、エサを食べることをあきらめてしまいます。

エサを掃き寄せることにより、牛が不自由な姿勢でエサを食べる

エサの掃き寄せ

牛がエサを食べたいときに、不自由なくエサを食べることが出来ること、乳量・乳成分を向上させるには牛の採食行動に合わせてエサを掃き寄せてあげましょう。

1 エサを掃き寄せる意味

ことを防ぐだけでなく、エサに興味を持たせ、採食行動を刺激します。その結果、『もう一口多くエサを食わせ込む』ことが可能となります。

2 エサの掃き寄せタイミング

図1は、牛の採食・休息・反芻の行動サイクルを示しています。

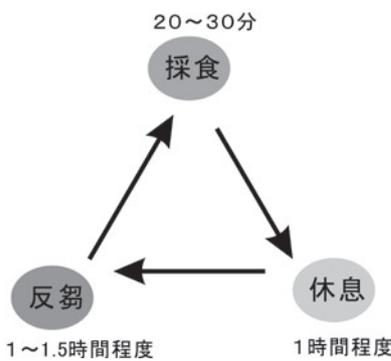


図1 牛の採食行動 採食・休息・反芻サイクル

牛の一回の採食時間は二〇〜三〇分程度で、エサを食べた後、一時間ほど経過してから反芻を行います。そして一〜五時間ほど反芻を行うと、再びエサを食べます。

したがって、給餌二、三時間後に、遠くにとばしたエサを掃き寄せる必要があります。また、フリーストール牛舎など、

では、給餌二〇〜三〇分後に最初の掃き寄せを行うと、採食スピードの遅い初産牛などが、経産牛などの強い牛に邪魔されず、腹一杯エサを食べることが出来ます。

3 エサの掃き寄せ位置

届かなくなったエサは、牛が最も食べやすい位置に掃き寄せるようにしましょう。



写真2 斜めになってエサを食べる

飼槽隔壁にエサを寄せすぎると、牛はのど元が圧迫されるのを嫌がり、斜めになってエサを食べるようになります。そうすると、一度に飼槽に並べる頭数が少なくなり、

そのためフリーストール牛舎などでは、飼槽隔壁から少し離して掃き寄せるようにしましょう(図2)。

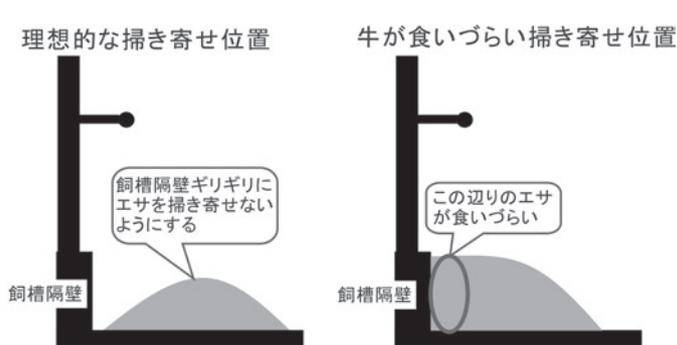


図2 エサの掃き寄せ位置(左:理想的な掃き寄せ位置) 飼槽隔壁から少し(約15~20cm)離して掃き寄せる

みなさんの農場でもエサの掃き寄せを確認し、改善に取り組みみてはいかがでしょうか。

内容に関してご不明な点がありましたら、普及センターにご連絡下さい。

(平成二十三年十二月作成)

理事会報告

11月定例理事会

平成23年11月26日（土）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 10月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について

議案第2号 融資の承認について

議案第3号 諸規程の一部変更について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 当面の業務日程について

付議事項

議案第1号 大口信用供与先に対する融資の承認について

■平成23年度 生乳生産実績（11月）

	月計乳量 (kg)	11月前年比(%)	累計乳量 (kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	7,981,054.4	102.4	66,192,696.1	97.4
（鶴居地区）	2,682,717.4	107.3	21,906,128.5	97.7
（幌呂地区）	2,126,753.9	99.5	17,716,413.2	97.1
（白糠地区）	1,806,418.5	97.6	15,540,446.1	96.5
（音別地区）	1,365,164.6	104.3	11,029,708.3	98.7
管内計	42,255,138.3	102.2	355,304,339.2	98.7
（前年度管内計）	41,336,534.6		359,831,109.1	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

23年12月1日現在

(単位：千円)

規格	種別	登録牛	
		上	中
育成（8～12ヶ月）		300	230
初妊		520～480	480～450
経産	2産～3産	370	320
産	4産～5産	320	270

初生とく

23年12月5日現在

初生とく	規格	単価
	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	600円/kg
	40kg～44kg	500円/kg

(提供／ホクレン釧路支所)

黒毛和種

23年11月15日音更市場

(価格：円・体重：kg)

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	567頭	540,750	98,700	338,443	292	1,159
	去勢	779頭	642,600	110,250	425,542	310	1,371

(提供／ホクレン帯広支所)

編集後記 EDITOR'S NOTE

- 今年を振り返った時、東日本大震災や、原発事故、TPP問題など、酪農生産や私達の生活に直接関係する事件、出来事が多い一年でした。そして、今後もその動向から目が離せません。
- 今年の世相を表す漢字は「絆」に決まり、人と人との結びつきの大切さが象徴された一年でした。
- 本年も、広報誌「たんちょう」をご覧いただき、誠にありがとうございました。

